

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年 12月 22日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市川子ども文化ステーション
(団体番号 81)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和4年 4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,307,881円
(2) 補助対象経費総額	725,830円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2022」
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもスタッフ会議：8/28、9/4、9/11、9/18、9/23、10/2、10/9、10/16、10/30の9回実施。小学4年生～高2まで38人が参加。大洲防災公園事務所2階集会室、ふれあいセンター集会室にて。また小学生以上の子どもスタッフコア会議で事前準備を進めてきた。 ・コロナ感染予防対策についても、子どもスタッフ会議の中で話し合う時間を設け、確認しながら進めていった。 ・子どもスタッフの創造力を高めていくためのワークショップを、■■■■氏を講師に9/4に実施。 ・7月中旬から子どもスタッフ募集を行い、定員30人に対して34人が応募し、前年度からのコアスタッフ4名が加わり38人の子どもスタッフで運営していった。 ・子どもスタッフ保護者説明会を8/28、10/9に実施。 ・ボランティアスタッフ募集については、募集チラシを7月末から配布、SNSやHPでも広報し、説明会を8/21にZOOMにて実施（後日、希望者に録画も配信）、また公式アカウントを作成してつながりをもち連絡を密にとっていくことを心掛けた。ボランティアとしてのべ201人の方が関わってくださった。まちの特徴や仕組み、子どもとの関わり方などを動画で説明したものを配信した。 ・当日参加者10/22・23両日で974人、ボランティア約201人が参加してくださった ・子どもスタッフ・ボランティアスタッフまとめの会を10/30に実施。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校、4年生～中学3年までを対象に子ども実行委員募集のチラシを7月中旬に配布。 ・ボランティア募集チラシを7月末から市内公民館・ボランティアセンターなどに配布・設置。 ・市内全小中学校にミニ☆いちかわ参加募集のチラシを9月下旬に配布。 ・市内公民館や大学などにボランティアスタッフ募集チラシを8月に配布、説明会をZOOMで行い「ミニ☆いちのボランティアスタッフ」としての理解を広めた。 ・団体のHPやフェイスブックに、募集の案内や子どもスタッフ会議の様子を掲載。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>今年で20年目の開催。今年も小学4年生以上の子どもスタッフに38人が応募し、9回のスタッフ会議を重ねる中で、学年や学校の違う子どもたちが仲良くなり、意見を交わし、自分のやりたい事を実現することができた。また「ミニ☆いちかわ」当日も参加した延べ約970人の年齢も学校も違う子どもたちが“子どものまちをつくる”という目的のもと、生き活きと活躍することができ自己肯定感を育むことに貢献できた。コロナ禍による生活スタイルの変化に慣れてきた部分もあるが、十分に話し合い納得しながら運営した。ボランティアスタッフについては、子ども主体の活動の内容を理解した上で参加してもらえるように働きかけ関わっていただいた。地域でボランティアを希望してもその機会自体減少していたとのことで、求めている人とこの事業にとの出会いで双方によい成果をもたらした。大洲防災公園で開催したことにより地域の方にも広く事業のことを知ってもらおう機会になり、子ども中心の事業を地域で見守る応援のまなざしを感じた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>3か月にわたる子ども会議に携わるボランティアスタッフは、子どもとの信頼関係を築き、子どものやる気に寄り添っていくスキルが必要。対面で行ってきた説明会をZOOMアプリを利用して自宅の説明を聞いてもらえたり、日程が合わない方へ録画配信をするなどの対応が可能となり、気軽に関わってもらえる機会をつくることができた。しかし、マニュアルを作って渡しても、伝わり切っていないこともあり、伝え方や内容を検討すべきだと感じた。ベテランのスタッフの中でも状況の変化によって変わってきたことを、理解している人と以前の感覚でいる人がいて差ができていることがわかった。大洲防災公園は昨年度も使用したこともあり、昨年の反省点を反映させて計画することもできた。</p> <p>ボランティアスタッフは毎年新しい方が関わってくださるのうれしいことである、工夫しながら毎年同じような説明をしているが、伝わらないこともあり、今後も課題として取り組んでいきたい。</p> <p>できたところとできなかったところの混在を整理し、スタッフの知識やスキルの向上をさらに目指したい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

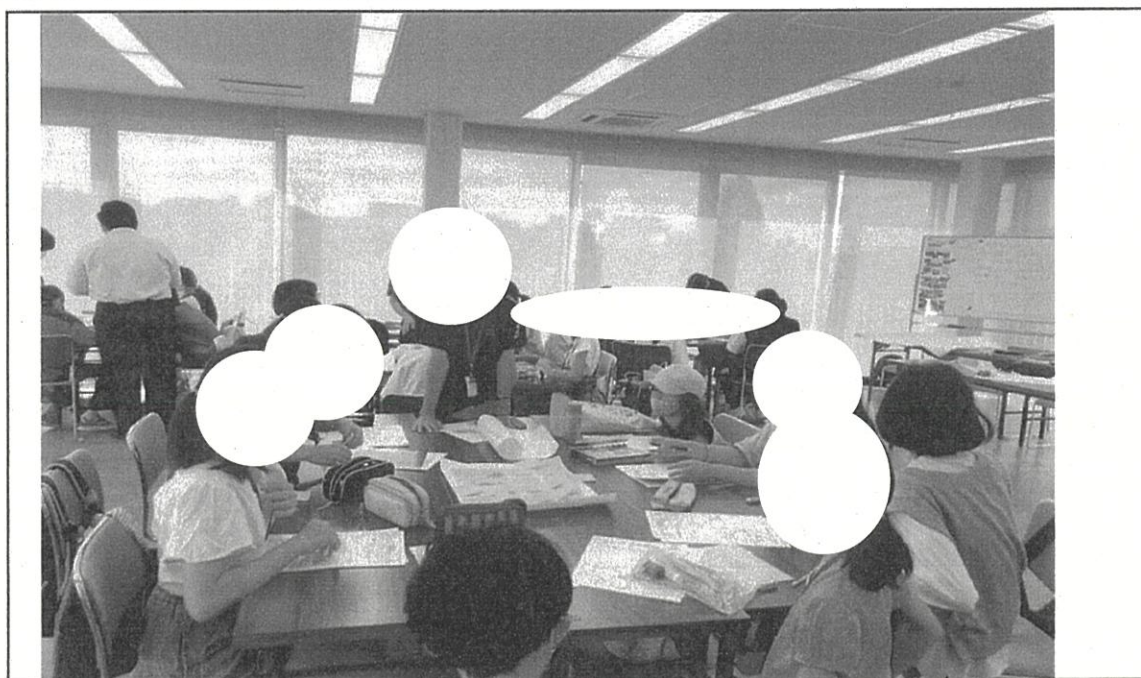
タイトル：「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ2022」当日の様子

撮影年月日：2022年10月22日



タイトル：「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ2022」子どもスタッフ会議の様子

撮影年月日：2022年9月11日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2022」

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	506,000	当日材料費 500円×974人=487000円 子どもスタッフ資料代 500円×38人=19000円
寄附金収入	579,000	商店や企業からの協賛金
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	72,881	団体の本会計より充当
合計	1,307,881	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	70,000	0	外部講師等の招へい (あり) / なし
謝金	160,000	0	協力スタッフ謝金のべ33人分
交通費	23,800	0	外部協力者交通費1人分 1400円 スタッフ交通費 12人分
消耗品費	124,370	0	スタッフ募集チラシ用紙代、 資料等用紙代、インク代、文具代、他
印刷製本費	112,430	112,430	ボランティア募集チラシ1000枚3,790円 子どもスタッフ募集チラシ14000枚24060円 参加者募集チラシ25000枚40080円 当日プログラム(12P)1500部38,850円 報告チラシ(A4)500部3110円 他コピー代
通信運搬費	143,890	125,000	機材運搬費 143,000円
保険料	0	0	市川市市民団体用保険を選択
使用料及び賃借料	496,780	488,400	*会場借料8,380円は補助対象外 テント、机、椅子、音響機材等 488,400円
原材料費	87,909	0	当日材料費(ブース材料費、文具、テープ等)
会議費	19,625	0	子どもスタッフ会議材料(お菓子)等
食糧費	68,857	0	当日ボランティア軽食補助約150人×2日分
その他	220	0	振り込み手数料
	1,307,881	725,830	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年2月22日

市川市長

団体名 行徳芝桜の会

(団体番号 85

代表者名

所在地

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	190,365円
(2) 補助対象経費総額	100,000円
(3) 補助金交付決定額	50,000円
(4) 補助金交付概算払額	50,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年参加の市主催の春と秋のなちなかガーデニングフェスタはコロナの関係で中止 ・新たに約200平方メートルのバラ花壇を造成し、育成中の苗約100株を移植 ・定期的なバラの殺虫、殺菌作業、水やり、草取りの実施 ・定期的なバラ枝の剪定、施肥実施 ・花壇に494株の花苗を移植 ・毎週火曜日2時間、草花グループは草取り、水やり、施肥、補植、増殖等実施 ・造成した花壇を中心に施肥に重点を置いて管理
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年参加の市主催の春と秋のなちなかガーデニングフェスタはコロナの関係で中止 ・特別な広報活動は無いがネット上でバラ園や花畑の紹介記事、投稿が多くなり、利用者も増加傾向にあります
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・バラ花壇の増設により本格的なバラ園へと展開途上で、周りの緑や水辺とコラボして行徳の景観のスポット、憩いの場として利用されています。 ・今迄は個人負担のボランティア活動が主体で、管理する費用が十分ではなかったが補助金を受けることにより、必要な肥料、土、苗、苗木などが無理なく調達が可能になり、バラ園も年を追う毎に拡大し利用者も増加し、多くの方から賞賛とお礼の言葉をいただくようになりました。 ・今年度もバラ花壇の拡張に伴うバラ苗や草花の苗など必要な資材が、補助金と寄付金により計画どおりに購入でき、会員の熱心な取り組みもあり、更に市民に喜ばれるお花畑になってきました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝桜の草取りは一年中必要で労力的にも負担になっていたのと1年に一ヶ月間位の開花で、後の11ヶ月は花が少なかったが、現在芝桜から草花に移行中で、管理が楽になってきているのと四季の花が見られるので、今迄以上に利用者に喜ばれています。今後は更に宿根や雑草にも強く、乾燥にも強い花も組み入れ、又季節に合わせた花も入れて利用者に四季の花を楽しんでもらうように考えています。 ・バラ花壇の拡張は限られていますので、今後はバラの管理の面で、つるバラのアーチを組み入れたり、レベルアップも考えています。 ・今後も継続的な管理ができるように、組織の強化が課題であり、NPO法人の立ち上げを考えています。又行政との協働、特に下水処理場管理者には、使用許可願いだけの任せきりではなく、合意書締結など協働の道を提案しています。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：つるバラの支柱と樹木共存

撮影 令和 5 年 1 月 6 日：



タイトル：いこいの広場内バラ園 約1400株

撮影 令和 5 年 1 月 6 日：



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：芝桜花壇とバラ花壇の再生維持管理事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入	140,365	会員などからの寄附
補助金収入	50,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当		団体の本会計より充当
合計	190,365	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費			
消耗品費			
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費	190,365	100,000	花苗494株、化成肥料30kg、プランター20個、肥料関係各種166袋
合計	190,365	100,000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 3月 31日

市川市長

団体名 戦争はいやだ!市川市民の会
(団体番号 86)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和4年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	164,711円
(2) 補助対象経費総額	78,243円
(3) 補助金交付決定額	65,800円
(4) 補助金交付概算払額	65,800円



5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>戦争はいやだ！いのち・人権こそ！</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりにできたこと、できなかったこと等を具体的に記載してください。 第3回「集い」10月10日13時30分～八幡市民会館参加者27名 テーマ チェチェン化するウクライナ ロシア化する日本 お話し 〇〇さん 第4回「集い」2月5日13時30分～市川文化会館 参加者44名 テーマ こんなに怖い非正規社会—貧困・福祉の交代・投票行動の劣化・そして戦争— お話し 〇〇さん</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>ひとつ前の開催日に、配付資料の各種インフォメーションの一つとして予告。また、約1か月前には、大手新聞社「千葉版」の「催し案内」コーナー（イベント情報欄）への掲載依頼。 市川市内ミニコミ新聞の「催し案内」コーナーも活用している。機会があれば、市内公共施設「催し案内コーナー」にもチラシ宣伝を依頼してきた。 個別には、当会賛同人や協力者には、その都度郵送配付し、関連学習会や集会ではチラシ配布に努めてきた。インターネット情報へも投稿。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市民による任意「賛同金」が主な財源である当会にとって、市による活動支援補助金支給は、活動推進のための財源として極めて重い役割を果たしていると言える。 今年度は、申請提出の遅れで2回の「集い」のみ補助金での企画となった。 リターン参加者が増えている中、初参加者もうれしい事柄と言える。参加によって個々に習得されたことを感想にしたためてもらい、可能な限り、ニュースの形で、郵送したり、次の回に配付している。アンケートから垣間見るに、「日本の今」を認識する一助にはなっている。質疑時間の工夫も課題。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 「集い」の企画・運営に参加者の意向を反映させていく方法が課題だと思う。運営委員会が企画・運営を担っていて、その会議には参加自由として開放しているが、自主参加の姿はない。各「集い」のテーマ・内容が、多くの市民とどれだけ「共有」できているのか？ その都度吟味されてはいるが課題であり続けている。 毎回お願いしている「アンケート」の深読みも、一つの策と言える。また、質疑での質問や意見の丁寧な把握・読みも接点になるかもしれない。 会場確保の際、市内公共施設の貸し出し方法がまちまちであることと、会場として使える場所が、不十分で不足している。(千葉市や船橋市との比較を知りたい)。</p>

(6) その他・活動報告

○タイトル 「集い」第3回 <テーマ> 「チェチェン化するウクライナ/ロシア化する日本」
・お話し [REDACTED] さん (ジャーナリスト)
八幡市民会館 第3会議室
2022年10月10日



○タイトル 「集い」第4回 <テーマ> 「こんなに怖い非正規社会」
・お話し [REDACTED] さん (ジャーナリスト)
○会場 市川市文化会館 第5会議室
○実施日 2023年2月5日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：戦争はいやだ！いのち・人権こそ！

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	104,500	賛同金53,000円+参加費61,500円
寄附金収入	3,353	
補助金収入	65,800	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	17,737	団体の本会計より充当
補助金返金	-26,679	
合計	164,711	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	63,000	43,000	各「集い」講師謝礼金20,000+23,000
交通費			
消耗品費	25,193	8,373	コピー用紙、封筒、文具等
印刷製本費	2,555	845	案内チラシ、配布資料等
通信運搬費	46,913	14,285	案内等送付、切手代
保険料			
使用料及び賃借料	22,050	11,740	
原材料費			
その他	5,000		
合計	164,711	78,243	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月31日

市川市長

団体名 ぼっけ生きもの倶楽部

(団体番号 No. 88

代表者名

所在地

2022年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	108,694円
(2) 補助対象経費総額	106,090円
(3) 補助金交付決定額	53,275円
(4) 補助金交付概算払額	53,275円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	大柏川第一調節池緑地の自然環境保全・再生活動
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>1. 生物調査・撮影・測定 *1年を通しての植物、野鳥、昆虫、魚類等の調査。 *四季の遷り変りを記録に残すために7箇所での定点撮影。 *水系の経緯を観測するために湧水量と地下水位の測定。</p> <p>2. 環境保全・再生活動 *次年度草刈り計画図面の提出 生物多様性を考慮した草刈要望図面を、CADソフトを用いて作成し提出した。生活環境整備課は、この要望図面を基に年5回の草刈りを実施・検証・記録を執った。 *草刈り作業 生活環境整備課が実施する以外の広場、外周路、ポケットパークなどは、長靴を履き、鎌、刈り払い機、ロータリー草刈りを用いて草刈りを行った。棚池内は、水面を維持するため長靴、胴長靴等を用いて池内の草刈りを行った。クズについては単一種優占を防ぐため除草剤を用いて抑制した。 *樹木の剪定・移植 繁茂している樹木については、鳥類の営巣状況や昆虫類の利用状況等を観察しながら適宜、剪定を行った。 市内の林内において提供いただいた在来樹種の移植を行った。</p> <p>3. 在来種を保全するための外来生物駆除 *アカミミガメやライギョの駆除 カメトラップや日光浴罟を設置し、捕獲し駆除した。捕獲したアカミミガメはビジターセンターへ渡し、市が適正に処理した。 ライギョについては池の水抜きの際に捕獲を行った。 *特定外来植物・外来植物の駆除 2013年台風26号で、大柏川第一調節池緑地は満水となり、その後毎年、特定外来植物アレチウリ、オオブタクサが観察され毎年駆除している。現在でも少数が確認されるため観察し、継続的に駆除を行っている。 ヘラオオバコ等外来種の草本についても引き続き駆除を実施した。</p> <p>4. 希少種保全・再生 アサザ・ガガブタは、入園者が近場で観察できるように、ビジターセンター近くの棚池への移植作業を実施した。なお、タタラカンガレイ、ツツイトモ、アサザ、ガガブタ等の希少種の保全作業を継続した。 休耕田の埋土種子が発芽したが、棚池への移植による繁茂が見られないため引き続き試験を継続し移植を行う。 ガマ、アシの刈取りにより貴重在来草本である(ジョロウスゲ)の生育を確認できた。</p> <p>5. 市民への啓蒙活動 当緑地、来園者への動植物や生態等の説明やパネルの作成、樹名板の設置、夏季は池で採取された水生生物を観察できるように水槽、たらいに入れ展示した。秋は子供達への落ち葉プール等のアクティビティー設置。 ぼっけ生きもの倶楽部の活動事業報告書、写真集を展示し入園者への啓蒙を図った。</p> <p>6. 周辺小学校の復元活動の参加 近隣の小学校生徒との協働による復元活動を行った。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>1. 広報いちかわに掲載した。 毎年、高校生の夏季ボランティア参加の受け入を実施。</p> <p>2. エ地コギャラリーでボランティアを募集の冊子を配布した。</p> <p>3. 緑内の看板にボランティア募集のポスターを貼付した。</p>

<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>1. 生物調査・撮影・測定 植物、野鳥、昆虫、魚類等の調査、定点撮影による四季の変遷記録、涌水量と地下水位の測定ができた。</p> <p>2. 環境保全・再生活動 2022年度草刈り要望図面を提出した。 2021年度の草刈り、クズ抑制、樹木剪定は、無事順調に達成できた。</p> <p>3. 在来種を保全するための外来生物駆除 引き続きカメトラップ・日光浴罌の設置により、アカミミガメは減少した2~3個体のみ確認されるまでになった、ライギョについてはこれまで100個体を超える成魚を捕獲することができた。前年に引き続き卵塊、幼魚の捕獲を行い著しい繁殖を避けられ、生息数は減少しているものと思われる。 外来植物は、出現頻度を抑えるため種により駆除方法を検討し、スコップ等による引き抜き、鎌での刈り取りなどの作業を実施した。</p> <p>4. 希少種保全・再生 アサザ・ガガブタの育て方が確立したので、入園者が観察し易い容易に、6池では草刈りを、ザ2-①、池には移植をした。今年度も、タタラカンガレイ、ツツイトモ、アサガガブタ等の希少種の保全・再生方法を模索した。 また、昨年確認された貴重種であるオオアカバナの保護するため植生管理を行ったことにより今年も生育が確認することが出来た。 ビジターセンターへは毎年ツバメが訪れ営巣する、飛来する前に営巣個所の掃除を行っており継続的に営巣から巣立ちまでを観察することが出来る。</p> <p>5. 市民への啓蒙活動 入園者の啓蒙のために作成した当緑地の生物紹介パネル、ぼっけ生きもの倶楽部倶楽部の活動事業報告書と写真集「緑の水一面-カイツブリの親子-」をビジターセンター内に展示した。</p> <p>6. 周辺小学校の復元活動の参加 近隣の北方小学校生徒と作成したカエル用登坂用具を、内周路の集水樹へ協働で取り付けを行った。</p> <p>池内の草刈りによる水面の維持、植生のコントロール、外来種駆除等を行った結果、希少植物の再生も順調に進み、かつての大柏川地域に普通にみられた自然環境の復元に貢献できた。市民が自然と触れ合う素晴らしい機会を提供することができた。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>1. 行政の市内自然環境の把握と保護、保全の継続性確保 行政では開発が進む市川市において現存する自然環境について現状把握し、保護、復元整備すべき重点地点を認識し、住環境改善の両立を図っていくことが望まれる。 自然環境の維持管理手法は少なくとも5年位に亘って試行錯誤の結果を、当事者及びできれば第三者による観察、評価を基に確立されることが望ましい。しかし市川市役所はほぼ2年毎の人事異動や組織変更などがあることから、配属された職員には蓄積されて来た維持管理業務内容が適切に引継ぎが行われる仕組の確立が必要である。この問題解決策として、指定管理者制度の適用の試行が望まれ</p> <p>2. 夏場の渇水対策の実施 大柏川第一調節池緑地の水は；雨水と周りからの絞り水から成り立っている。そのため、夏場いくつかの棚池は干し上がり、そこに棲息している魚類は壊滅、入園者は、水辺を楽しむ機会を喪失している状況にある。対策として、夏場に水を補給する設備の検討が急がれる。</p> <p>3. 人員確保 広大なこの緑地の草刈りや外来生物駆除を行うには、人員不足である。広報やボランティアなどで参加者を募り人員を確保することや、今後SNS等により広い発信を行い人員の確保も望まれる。</p>

4. 広報活動

これまで希少植物のアサザ・ガガブタ、タタラカンガレイ、オオアカバナが確認されている。

またビジターセンターへは毎年ツバメが訪れ営巣、産卵、育雛する姿を見ることが出来る、大柏川第一調節池緑地は、それらが観察できる市内唯一の場所として広く紹介すると同時に、他の団体との交流を深める場所としていきたい。

5. 経済的支援

ボランティア活動を行うに当たり、刈り払い機、ガソリン等が必要である。市民との協働の基に、活動を推し進めるためには、少なくとも協定書を締結した団体に対しては、機材の貸与、消耗品の支給を始め、ソフト利用費用等への補助が必要である。

6. 市内に新たに整備された国分川調節池緑地は大柏川第一調節池と同様に大面積であり市川市内の自然環境として貴重な存在である、両調節池は孤立した管理を行うより、環境的なネットワークを持たせることによりさらに多様な動植物の生息環境となることが期待できる。市内に点在する自然環境の現状を把握し、保護、復元の計画、維持管理の技術を確立していくことが望まれる。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 外来種駆除活動

撮影年月日 : 2023年10月2日 (ミシシッピーアカミミガメ) 2月12日 (雷魚) 3月12日 (植物)



タイトル : ガマ・ヨシ刈り取りによる水面維持

撮影年月日 : 2023年1月29日(上段) , 2月19日(下段)



市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	8,800	
補助金収入	53,275	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	46,849	団体の本会計より充当
補助返戻金	▲ 230	
合計	108,694	

2 【支出】

(単位：円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	0	0	
交通費	0	0	
消耗品費	91,094	88,490	別紙 申請品内訳書参照
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料 及び賃借料	17,600	17,600	
原材料費	0	0	
合計	108,694	106,090	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 5年3月24日

市川市長

団体名 市川子どもわくわくネットワーク
(団体番号 90)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	134,346円
(2) 補助対象経費総額	95,562円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

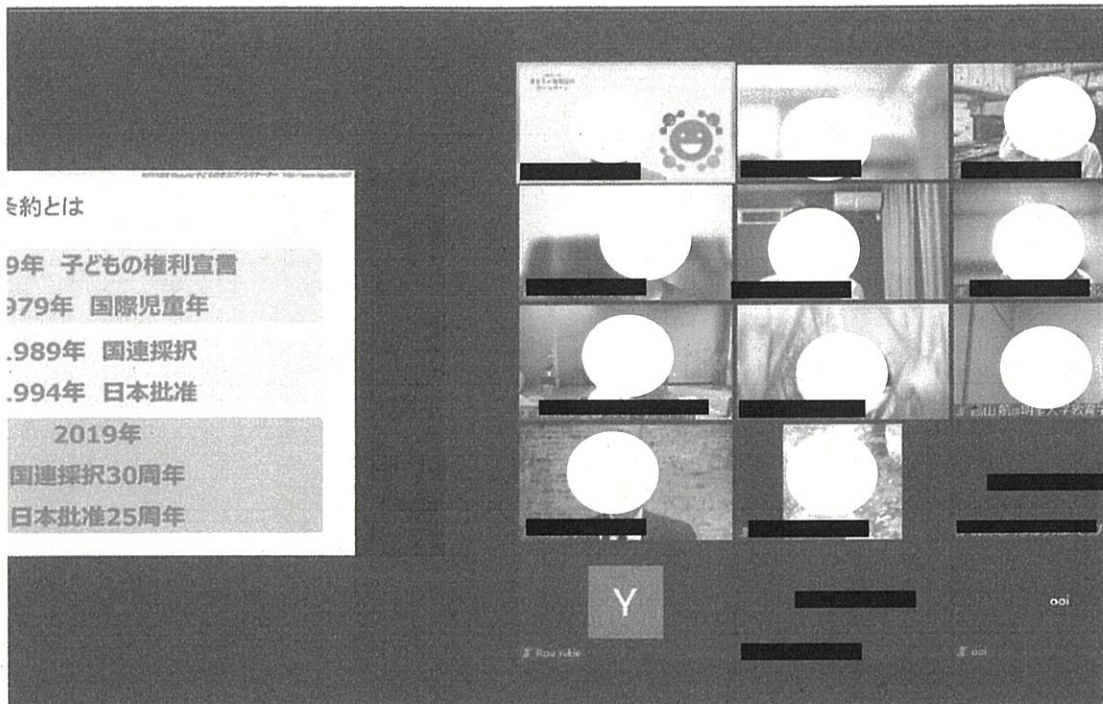
補助決定事業の名称	子どもに関わる人たちのつながりづくり事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>1、「つながるカフェ☆オンライン」の開催。 内容：毎回ゲストを招いて話題提供をしてもらい、その後参加者どうしの交流を図った。 開催日：5/31、7/22、2/4 計3回 のべ参加人数：36人（大人34人、子ども2人） ゲスト：[redacted]さん（浦和大学准教授） [redacted]さん（市川市中央こども館館長） [redacted]さん（千葉県立姉崎高等学校教諭）</p> <p>2、「いちかわ☆つながるカフェ」の開催。 内容：①「子どもの権利を知ろう」をテーマに、子どもと大人がゲストと共に学ぶ「すごろく大会」、②「子どもや子育て環境についての行政との連携」をテーマに、参加者同士が語り合う座談会を行った。 開催日：6/15、9/17 計2回 会場：KeiyoGAS Community Terrace のべ参加人数：34人（大人18人、子ども16人） ゲスト：[redacted]</p> <p>3、「こどもみらい会議2022」の開催。 内容：映画「こどもかいぎ」を鑑賞し、その後参加者どうしの対話の場を設けた。 開催日：2/26 会場：全日警ホール 参加人数：65人（大人53人、子ども12人）</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>フェイスブックやメーリングリストなど、SNSを利用して広報を行った。</p> <p>また、チラシを作成し、市内でのイベントで配布したり、近隣施設（幼稚園、学童、全日警ホールなど）に設置したりした。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>多岐にわたる分野で活躍されているゲストをお招きしてお話を聞くことにより、参加者がより広い視野で子どもを取り巻く環境について関心を持つことができた。</p> <p>子どもたちに参加してもらおう企画も実施し、子どもが育つ環境について大人と子どもが共に考える機会を設けることができた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>オンライン開催では、お互いに名刺交換をしあうなどの交流が生まれにくく、事業後の発展に繋がりにくかった。</p> <p>少しずつではあるが、リアルでの開催を増やしたことで、参加者同士が直接顔を合わせて交流することができるようになった。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

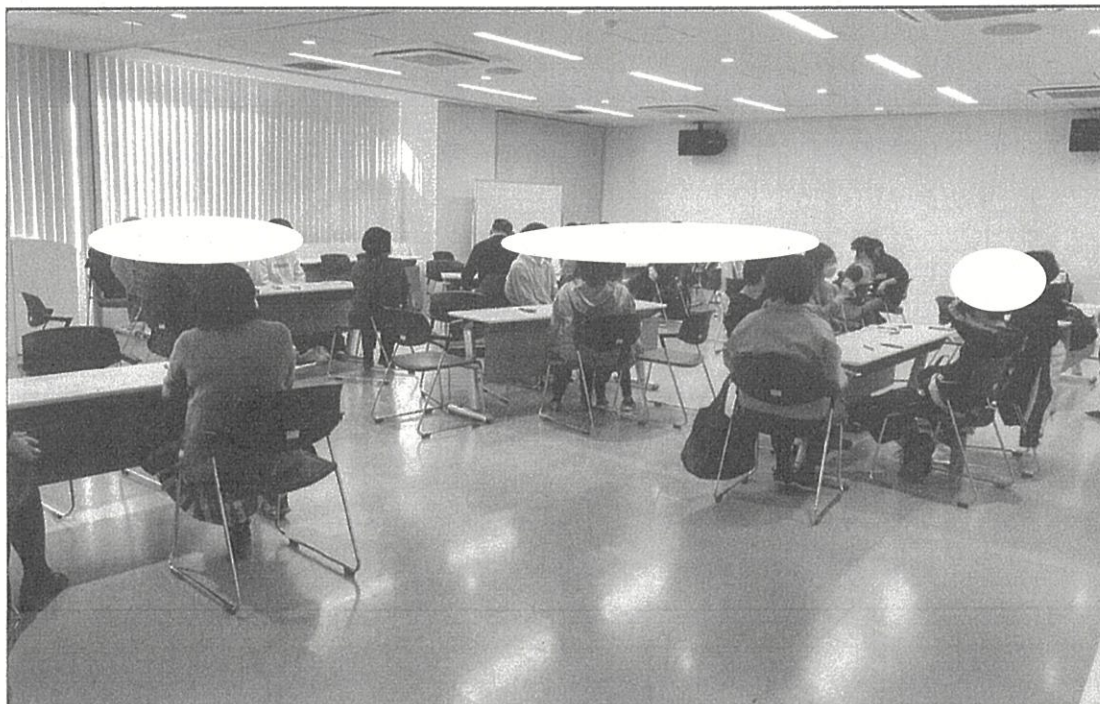
タイトル : つながるカフェ☆オンライン

撮影年月日 : 2022年5月31日



タイトル : こどもみらい会議2022

撮影年月日 : 2023年2月26日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 子どもに関わる人たちのつながりづくり事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	100,600	つながるカフェ参加費36,600円 みらい会議参加費64,000円
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当		団体の本会計より充当
返金	▲ 116,254	
合計	134,346	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	30,000	30,000	外部講師等の招へい あり なし つながるカフェ講師謝金20,000円×1人、10,000円×1人
交通費	4,452	4,452	スタッフ交通費のべ9人分
消耗品費	2,900	110	サイコロ代110円 (飲み物、菓子代2,790円)
印刷製本費	4,780	4,780	つながるカフェ資料印刷770円 みらい会議チラシ印刷4,010円
通信運搬費	850	220	謝金振込手数料220円×1回=220円 (peatix振込手数料210円×3回=630円)
保険料	0	0	
使用料 及び賃借料	91,364	56,000	会場使用料5,550円 DVD使用料60,500円 (zoom使用料22,000円) (peatix使用料3,314円)
原材料費	0	0	
合計	134,346	95,562	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年3月24日

市川市長

団体名 市川子どもわくわくネットワーク
(団体番号 90)

代表者名
所在地



令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称
子どもに関わる人たちのつながりづくり事業
- 2 変更の内容
 - ① 「つながるカフェ☆オンライン」の回数の変更（5回から3回）および実施月の変更
 - ② 「いちかわ☆つながるカフェ」の回数の変更（3回から2回）および実施月の変更
 - ③ 「こどもみらい会議 2022」において、講師を呼ぶ代わりに映画『こどもかいぎ』を上映
それに伴い会場も変更
- 3 変更の理由
 - ① 講師との調整が合わなかったため
 - ② 講師との調整が合わなかったため
 - ③ 事業のテーマに沿った映画があったので、それを鑑賞してから交流を行うことにした



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月3日

市川市長

団体名 ASB

(団体番号 91)

代表者名

所在地

令和4年 7月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	89,309円
(2) 補助対象経費総額	61,827円
(3) 補助金交付決定額	34,630円
(4) 補助金交付概算払額	34,630円



(5) 実施報告

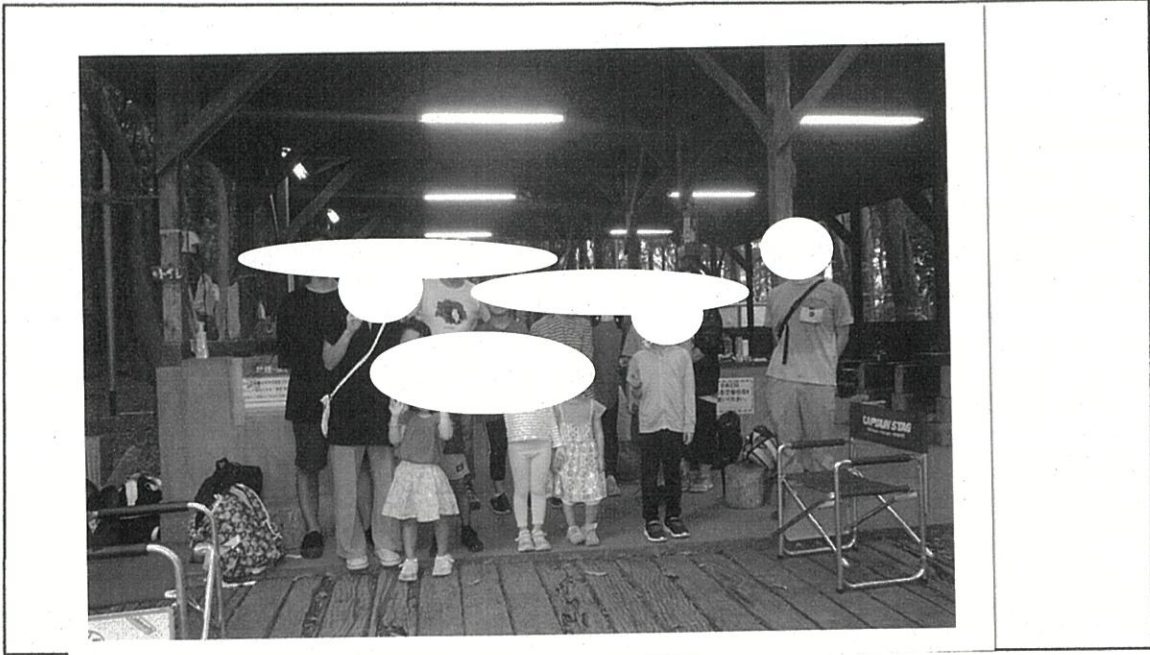
補助決定事業の名称	家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 夏の野外活動はスポーツ課のスタッフの皆さんのご尽力を頂いて開催できました。キャンプ場の炊事道具やテントなどの備品は使用は出来ていないので来年度で使用できるのかを確認しています。約3年ぶりに市民まつりにも参加でき、新規の工作教室参加者が増えたことも成果のひとつです。ホームページでの問い合わせによる工作教室参加者があったので少しずつ成果として表れています。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	今までの広報活動が実を結んでいるものの市民まつりに参加して下さった方の応募が多いこともありますので継続しながら現会員との連絡を密にとってイベントを盛り上げましょうとの意見も出ました
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 継続してPR活動を図るとともにリピーター参加者のご協力もお借りして活動の幅も広がっていきと話がありました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 市民まつりの参加を継続しつつ、参加者と楽しめるイベントの開催を柔軟に対応していくことを検討しています。また、広報活動につながるようにホームページやアプリを使いながら宣伝していくことを再確認いたしました

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

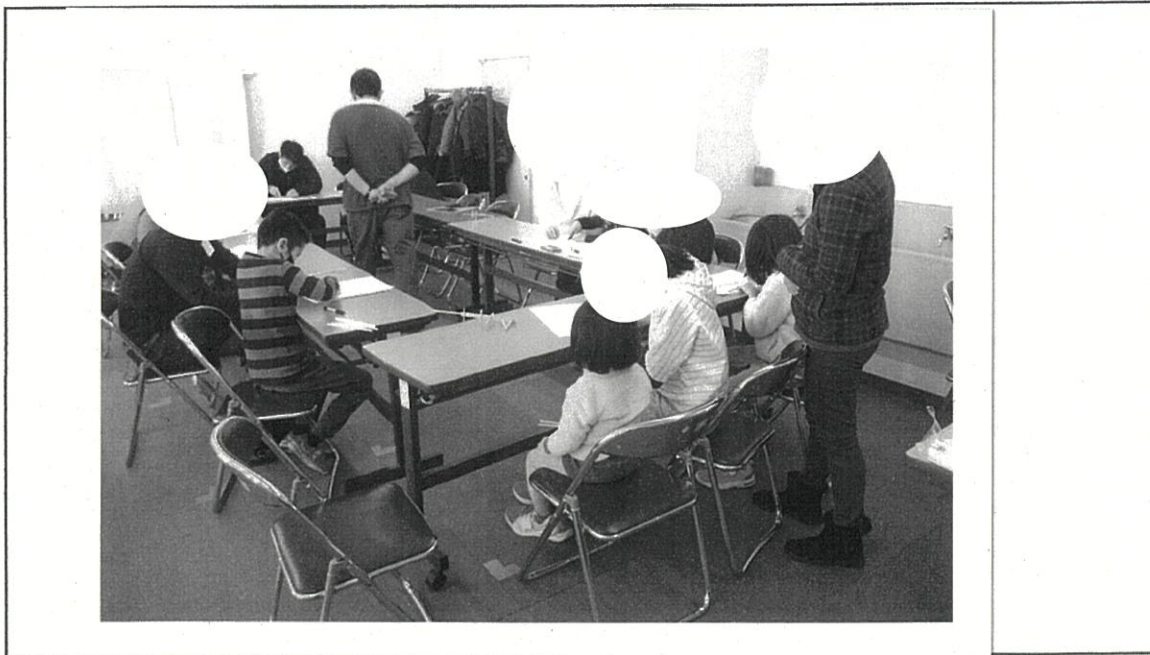
タイトル : 参加者と集合写真

撮影年月日: 2022年8月19日



タイトル : 割りばしでっぼう作成

撮影年月日: 2023年1月29日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	14,500	
寄附金収入		
補助金収入	34,630	
その他 (助成金等)		
会費充当	43,896	団体の本会計より充当
補助金返金	▲ 3,717	
合計	89,309	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費			
消耗品費	60,601	38,997	ハーゲン894円・ハスクッド等329円・食材3993円・食材5308円・水・調味料1536円・調味料540円・薪代6000円・3608円・ピザ1420円・鶏肉1271円・ひよこ豆等416円・食材7569円・調味料等1504円・食材1750
印刷製本費	3,470	0	コピー代(レシート6枚)3470円
通信運搬費	7,098	6,930	切手2520円・ハガキ70枚4410円
保険料			
使用料及び賃借料	18,140	15,900	市民まつり参加費14800円・公民館使用料3
原材料費			
合計	89,309	61,827	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

331
令和5年4月5日

市川市長

団体名 QP杯少年野球リーグ

(団体番号 100)

代表者名

所在地

令和⁴年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	369,971円
(2) 補助対象経費総額	239,707円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

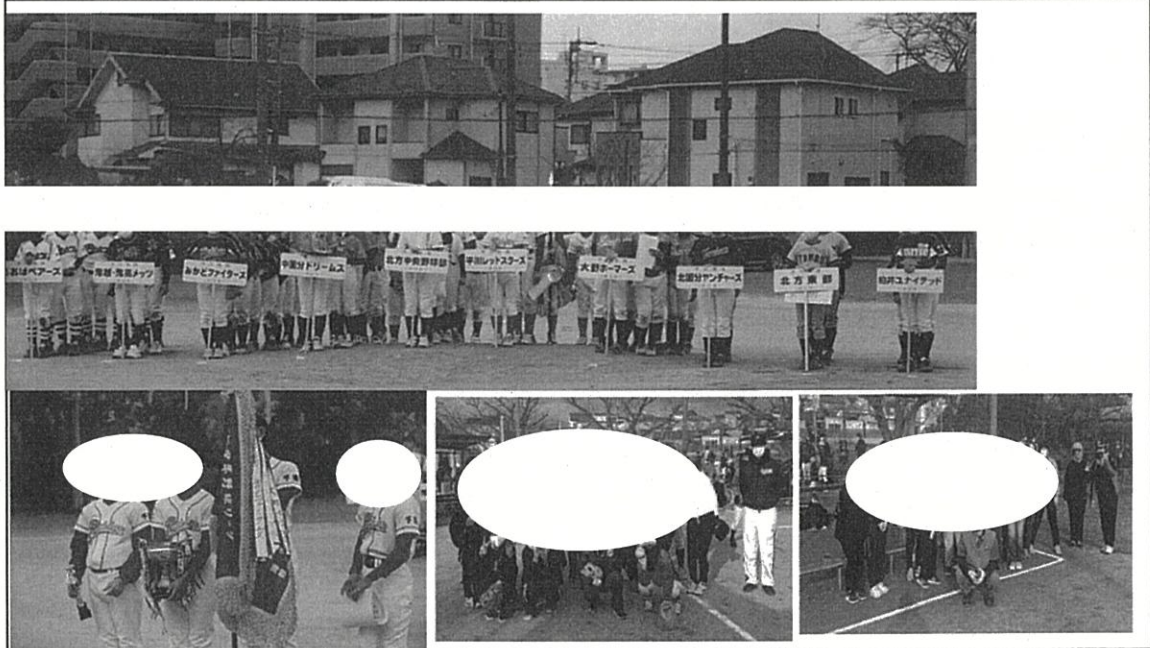
補助決定事業の名称	小学生の健全育成を図る野球大会の開催
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>■実施概要</p> <p>4月 開会式(中止)、リーグ戦 4試合・グラウンド整備(大野)</p> <p>5月 リーグ戦 8試合・グラウンド整備(大野)</p> <p>6月 リーグ戦 3試合・グラウンド整備(北方)</p> <p>7月 リーグ戦 7試合・ナイター野球大会(中止)</p> <p>8月 リーグ戦 4試合</p> <p>9月 リーグ戦 5試合</p> <p>10月 リーグ戦 7試合</p> <p>11月 リーグ戦 4試合、</p> <p>12月 リーグ戦 3試合・グラウンド整備(北方)母ソフトボール、閉会式(12/11)、納会(中止)</p> <p>1月 翌年度準備作業/2月 翌年度準備作業、翌年度総会(中止)</p> <p>3月 翌年度準備作業</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	当リーグ戦のホームページにて広く市民に広報活動を行っています。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>市川市北部地域の少年野球チームを中心とした当リーグでは、地域の学童選手がいつでもグラウンドで安全に野球ができるよう、整備にも大変力を入れております。定期的な除草もそのひとつです。草刈機を用いておりますので、そこにかかる経費等を補助金を活用することで、良好なグラウンド状態の維持が出来、グラウンド運用ができました。一番の消耗品であるボールも十分に供給ができました。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>引き続き、良好なグラウンド状態を保持するため草刈に伴う諸費用にこの補助金を継続して活用していくことが必要であり、また修繕に関しても同様に行っていきたい。</p> <p>地域と一体になって少子化で減少する野球人口を回復させるために、まずはこのような土台(グラウンド)を保持していることをもっと広報活動していきたい。</p> <p>また、ボールの供給や岩瀬砂等により整形することにより水捌けの良いグラウンドコンディションでプレイができるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えます。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

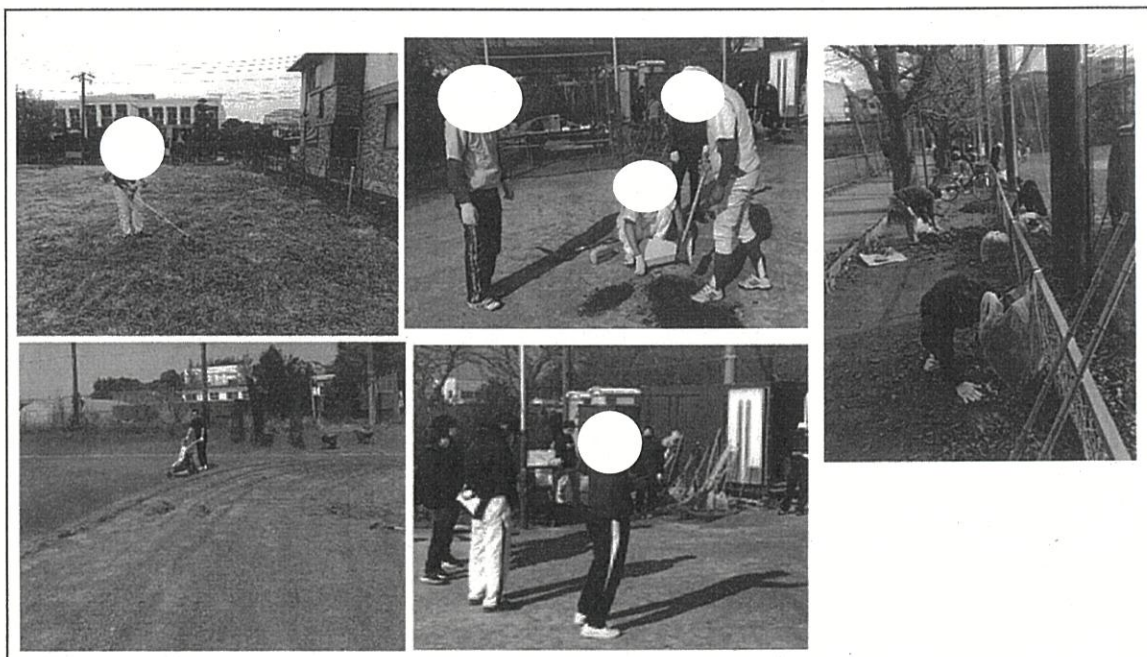
タイトル : QP杯閉会式及び母親ソフトボール

撮影年月日: 令和 4年 12月 11日



タイトル : QP杯草刈り・グラウンド整備の様子

撮影年月日: 令和 4年 12月 11日他



⑨こんなに多くの方が協力して、子供たちの野球環境を整えるため汗を流してくれました



⑩グラウンド内から全体を見るとこんな感じです・・・本当に狭い所に多くの方が汗を流してくれました



⑬側溝蓋を閉めて元に戻しました



⑭側溝蓋を閉めて元に戻しました



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：小学生の健全育成を図る野球大会の開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	150,000	参加費15,000円X10チーム
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	100,000	鈴木財団助成金
会費充当	118	団体の本会計より充当
補助金返還	-30,147	
合計	369,971	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	127,384	0	メダル、飲み物
交通費	400	0	スタッフ駐車場代
消耗品費	228,103	227,213	試合ボール、野球道具、グラウンド補修備品、草刈機整備、草刈り機燃料
印刷製本費	1,220	0	資料印刷、コピー代
通信運搬費	12,864	12,494	郵便代、草刈り機運搬
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	
その他	0	0	
合計	369,971	239,707	

※ 領収書(原本)を添付してください。